

令和8年度 第1回大農事組合長会議次第

開催日時及び場所

日時		対象地区	会場
5月20日(水)	午前10時00分	鞍手地区	鞍手支所
	午後1時30分	宮若地区(宮田)	営農経済 総合センター
5月21日(木)	午前10時00分	直方・小竹地区	本所
	午後1時30分	宮若地区(若宮)	宮若支所

【1】開会のことば

【2】あいさつ

【3】説明事項

1. 行政からの連絡

2. 福岡県農業共済組合からの連絡

3. 営農生活課からの連絡

- (1) 大農事組合長の年間スケジュールについて P 1
- (2) 米出荷契約について P 1
- (3) 普通期水稻の管理について P 2～4
- (4) 「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について P 5
- (5) 農作業の安全確認と予防対策について P 6
- (6) 農薬の適正使用についてのお願い P 7
- (7) 日本農業新聞について P 8

6. その他

【4】閉会のことば

4. 経済農機課からの連絡

- (1) ジュース新商品について

5. 総務課からの連絡

- (1) 令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画等(第25回通常総代会関連事項)について

(1) 大農事組合長の年間スケジュールについて

1. 年間行事

年 月	会議・研修会(予定)	主な会議内容及び配布物
令和8年 4月		出荷契約書 JAだより
5月	大農事組合長会議	会議等年間計画、総代会資料 へり防除の申込(宮若地区) JAだより
6月		JAだより 総代会資料
7月		出荷用紙袋注文 JAだより
8月	大農事組合長会議	春馬鈴薯種子、玉ねぎ苗・甘藍苗注文 JAだより 米の集荷案内
9月		米の概算金、賦課金の徴収案内 春馬鈴薯の注文 JAだより
10月		JAだより
11月		JAだより
12月	大農事組合長会議	米の集荷及び検査実績 水稻肥料・農薬等の注文 稲作ごよみ JAだより カレンダー
令和9年 1月		JAだより
2月		夏野菜苗注文 大農事組合長・農事小組合長変更(継続)報告書 JAだより
3月		JAだより

2. 農事組合長手当

大農事組合長	20,000円 + (1,000円 × 農事小組合数)
農事小組合長	1,000円 × JAだより配布数

●支払日 : 令和8年12月(予定)

●支払方法 : 口座振込

(2) 米出荷契約について

令和8年5月20日

組合員各位

直鞍農業協同組合

令和8年産米の出荷契約について

拝啓 陽春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より当組合の事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、4月下旬より管内の公民館等で「令和8年産米の出荷契約」の締結手続きを行っております。
当組合では、締結頂いた契約数量をもとに、全農及び業者との協議を行い販売計画を立てております。販売先への安定供給を行うため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
尚、当組合へ出荷された組合員の皆様につきましては、栽培履歴の提出が必須となっておりますので、後日お配りいたします栽培履歴記入用紙にご記入いただき必ず提出をお願いいたします。

敬具

記

1. 出荷契約締結期限 令和8年5月31日
2. 提出頂く書類 ①令和8年産米出荷契約書
②出荷契約にかかる数量明細書

3. 留意事項

出荷契約締結期限後の取り扱いについて
期限を過ぎて売渡委託(出荷契約)を行う際は、令和8年産米の概算金相当額での精算が出来ない場合がございます。(販売状況に応じた精算)

以上

お問い合わせ先 JA直鞍 営農生活課 担当：戸田・稲垣

(3) 普通期水稻の管理について

令和8年5月12日

直鞍農業協同組合

1. 品質の良い米づくりは健全な苗づくりから！

近年、育苗期にいもち病やもみ枯細菌病の発生が増加しています。菌を本田に持ち込まないよう、育苗期から対策を徹底しましょう。

【いもち病対策】

- ・育苗箱かん注処理や箱施薬など、育苗期防除の実施。
- ・置き苗の除去（いもち病の発生源になるため）。
- ・本田では多肥栽培を避け、ケイ酸質資材を施用する。

【もみ枯細菌病対策】

- ・塩水選や種子消毒の徹底。
- ・出芽期～緑化期の高温多湿（32℃以上）を避ける。

2. 水稻は適期に移植しましょう！

JA直鞍の水稻うるち米1等比率は9.0%でした。品質向上のため、水稻の移植は以下の適期に行いましょう。

品 種	移 植 適 期（平坦地の場合）
夢つくし・恵つくし	6月 5日～
元気つくし	6月10日以降（6月中旬が望ましい）
ヒノヒカリ・実りつくし	6月15日以降

適期より早く移植すると・・・

① 検査等級や収量が低下します。

（登熟期間が高温に当たり、白未熟粒や充実不足粒が発生するため）

※ 高温耐性品種の「元気つくし」でも早植えにより検査等級や収量の低下となります

3. ウンカの対策を徹底しましょう！

①箱施薬剤には、必ずゼクサロン（トリフルメソピリム）成分を含んだ薬剤を使用。

②箱施薬剤は、必ず1箱当たり50gを遵守のこと。

4. 本田でのいもち病対策を行いましょう！

・穂いもち病の発生が予想される場合は、予防対策として出穂前（30日～5日）にコラトップ1キロ粒剤又は、ジャンボ剤を使用しましょう。

5. カメムシ類の発生に注意しよう！

・近年、カメムシ類の発生が拡大傾向にあります。出穂期前に畦畔の草刈りを実施し、ほ場内の侵入を防ぎましょう。

・ほ場内で発生を見たら防除を行って下さい。

6. 前年夏作が大豆後作や地力の高いほ場は基肥を減らしましょう！

①前年夏に大豆を作付けしたほ場では、水稻の生育が旺盛となり、倒伏等による収量低下が見受けられます。

②生育過剰による倒伏を防ぐため、10a当りの基肥量を基準より窒素成分で2～3kg程度（基肥料を10～15kg程度）減らす。

つばきあぶらかす

椿油粕は適正に使用しましょう

- ◆特殊肥料として販売されている椿油粕は、農薬として登録されていないため、ジャンボタニシ(スクミリングガイ)の駆除目的で使用することは禁止されています。
- ◆害虫の駆除目的で使用や販売を行うと、**農薬取締法違反**となります。ジャンボタニシの駆除には登録のある農薬を使用しましょう。

無登録農薬の使用 = 農薬取締法第24条違反

無登録農薬の販売 = 農薬取締法第18条違反

※罰則あり

肥料として「椿油粕」を使用する場合の注意事項

流出しやすい場所では使用を避けてください!!

- ◆「椿油粕」には、強い魚毒性があります。
（含有成分のサポニンによる界面活性作用によるもの）
- ◆肥料として使用する場合も、水を張った水田や、用排水路や池などに流出しやすい場所では使用を避けてください。

問い合わせ先

福岡県 農林水産部 食の安全・地産地消課
生産安全係 TEL:092-643-3571

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策について

スクミリンゴガイは水温が15℃以上になると食害を開始します。
被害は田植え後約3週間までが大きく、この期間を乗り切ることが被害を抑えるポイントになります。



1. どんどん増える理由<生態>

寿命は2~3年で、水田内、用排水路などで潜って越冬します。
産卵は4月~10月頃で、メスは年間3,000個以上の卵を産みます。
卵は夏季には10日~2週間でふ化します。ふ化した稚貝は、春~夏期には50~60日で産卵が可能となります。

2. 水稲への被害

稲は3~4葉期までが食害されやすいですが、5葉期以降ほとんど食害されません。
被害は貝高2cm以上の貝の発生量が多いほど、水深が深いほど大きくなります。



スクミリンゴガイの食害による欠株

3. 冬季の対策

- ①極寒期(1~2月)にほ場を耕起し、土中の越冬貝を寒気にさらす。
※1 耕起深度を浅く、ロータリ回転数を上げて細かく碎土すること。
※2 貝を他のほ場に持ち込まないために、ロータリやタイヤをよく洗うこと。
- ②用水路の越冬貝対策として、水路等の清掃を行うこと。

4. 田植前の対策 = 石灰窒素の利用 =

- 手順1 水田を荒起こして、深さ3~4cm程度水を入れ、3~4日放置する。
- 手順2 石灰窒素20~30kg/10aをムラなく散布し、3~4日放置する(湛水状態を保ち、落水やかかけ流しはしない)。
- 手順3 植代後、2~3日おいて田植えを行う(石灰窒素を含んだ水は水路に流さない。)

石灰窒素を散布した場合は基肥施用に注意!

【基肥基準: ベスト4・4・4 35~40kg(窒素成分で4.9~5.6kg)/10a】
タニシ対策で石灰窒素を20kg入れた場合(窒素成分で4.0kgが施用)
→この場合、不足分の窒素(0.9~1.6kg)をベスト4・4・4を7~12kg投入で補う。
※ 石灰窒素は、エコ認証米、減々米には使用できません。

5. 田植え時期の対策

①物理的防除

- 1) 生貝の捕殺(定期的に捕殺)
野菜くず、少し硬めのタケノコを畦畔沿いに置き誘因すると食害が軽減されるとともに捕殺しやすい。
- 2) 卵塊の圧殺(卵をつぶす)
ピンク色の時は水に落とすだけで駆除できます。ただし、ふ化直前の黒~白っぽい卵は水中でふ化可能なので、圧殺してください。
- 3) 侵入防止網を設置
水口に侵入防止網を取り付け、水路からの新たな貝の侵入を防ぐ。網目は9mm程度。網にゴミ等が詰まることがあるので注意する。



スクミリンゴガイの卵塊

ほ場の均平と浅水管理がポイント!

②耕種的防除

- スクミリンゴガイが、水稲に大きな被害を及ぼすのは田植え後約3週間まで。
- 1) 浅水管理
田植直後~田植え後3週間の間は、ごく浅く湛水を行う(ただし、除草剤の処理時~4日間程度を除く)水深は1cm以下が理想。
※ ほ場が凸凹だと深いところの株が食害されるので、田植え前にほ場の高低を出来るだけなくしておく。

③農薬による防除

スクミリンゴガイの発生が多い場合は、田植え後すぐに薬剤防除を行う。

●スクミリンゴガイ対策の薬剤 ※ふくおかエコ認証米は、スクミンベイト3のみ使えます。

区分	名称	10a当たり 使用量	使用時期	備考
エコ認証米 慣行栽培米 飼料用米等	スクミンベイト3	2~8kg	発生時	化学農薬成分に カウント無
慣行栽培米 飼料用米等	スクミノン	1~4kg	収穫60日前 まで	

水口、水深が深いところ、ほ場の周囲等タニシの集まるところへのスポット処理も有効です!

※ 槽油粕は肥料であり、農薬として使用することは禁止されています。

斑点米カメムシ類の被害に要注意



斑点米カメムシ類とは

カメムシ類が籾を加害すると黒色または茶色の斑点ができた玄米、いわゆる「斑点米」が生じます。

斑点米カメムシ類は、斑点米被害を引き起こすカメムシ類の総称であり、全国で30種以上存在しています。

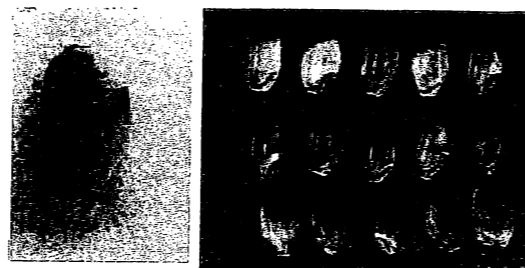


図 斑点米

斑点米カメムシ類の種類

アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、クモハリカメムシ、イネカメムシ等が主要種とされています。

地域毎に主要種となっている種類は異なります。

1. アカヒゲホソミドリカスミカメ

体長5~6mmの小型種、年間の発生世代数は3~5世代程度。イネ科植物に産卵し、卵で越冬します。割れ籾の発生が多いほど、斑点米が多くなるとされています。

2. クモハリカメムシ

体長15~17mmの大型種で、年間の発生世代数は1~2世代程度。樹木枝葉、樹冠等で成虫で越冬します。

3. イネカメムシ

体長12~13mmの大型種で、年間の発生世代数は1~2世代程度。他の斑点米カメムシ類と異なり、稲への嗜好性が高いです。また、斑点米だけでなく籾が充実しない被害、いわゆる不稔被害を引き起こします。

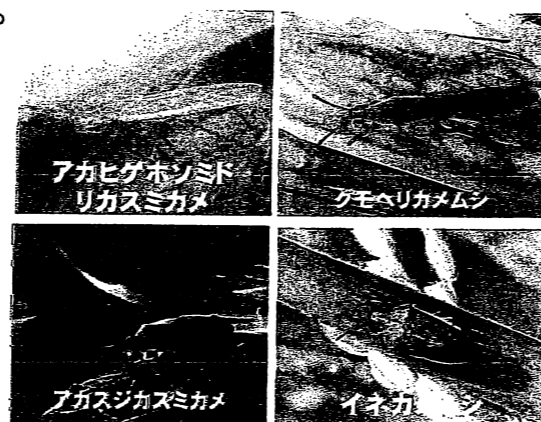


図 斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類の1年間

斑点米カメムシ類は、イネ科雑草で繁殖することが多く、稲の出穂前後に水田に侵入します。

発生量はその年の気候条件や周囲の環境により、大きく変動します。

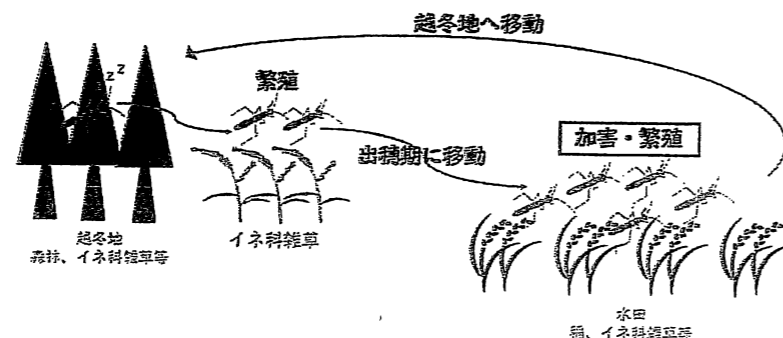


図 斑点米カメムシ類の大まかな動き

防除対策について~地域一斉の防除で効果UP~

標準的な防除対策は、以下のとおりです。

斑点米カメムシ類の種類等によって、効果的な対策は異なりますので、詳細は都道府県病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

その1 適期の薬剤散布

- ✓ 都道府県の発表する発生予察情報を参考にしながら、水田内の発生状況、水稻の生育状況をよく確認し、適期に薬剤散布を実施しましょう。
- ✓ 薬剤散布は主に収穫期以降に実施されますが、薬剤散布の適期は、斑点米カメムシ類の種類や使用する薬剤の種類により異なりますので、各都道府県の防除指針、地域の防除暦等を参考にしてください。



イネカメムシ対策（不稔被害防止）では、収穫期の薬剤散布を実施しましょう。一部の地域では薬剤抵抗性が発達した個体（特定の薬剤が効きにくい個体）も確認されています。同一系統の薬剤の連用は避け、ローテーション散布を心がけましょう。

その2 雑草管理の徹底

- ✓ 水田周辺の畦畔、休耕田等の雑草除去を実施し、斑点米カメムシ類の密度低減を行いましょ。
- ✓ また、水田内のノビエやイヌホタルイも斑点米カメムシ類の増殖・飛来源となりますので、除草しましょう。



収穫期以降の畦畔の除草は、かえって畦畔の斑点米カメムシ類を水田に追い込むこととなります。草刈りは、稲の出穂10~15日前までに終了しましょう。

こういった場合は、斑点米被害が発生しやすい

<p>近くに雑草地などの繁殖源がある</p> <p>耕作放棄地など</p>	<p>高温・少雨 カメムシが増殖しやすい条件</p>	<p>割れ籾の発生が多い 幼穂形成期が低温・日照不足、登熟期が高温の場合に割れ籾が発生しやすくなります。</p> <p>割れ籾の隙間から加害できる斑点米カメムシ類</p>
---------------------------------------	--------------------------------	---

JA直轄アグリ土づくりセンターが目指すもの

(4) 「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について

いつもアグリ土づくりセンターの牛ふん堆肥をご利用いただきありがとうございます。
 さて、JA直轄では地力低下に伴い水稲、麦、大豆など土地利用型作物の収量が低下している
 事から、収量の安定をはかるため堆肥や土壌改良材を投入する事を奨めています。
 JA直轄の「アグリ土づくりセンター」が製造する「堆肥」は良質な堆肥として管内・管外から
 も評価をいただいております。

土壌という大切な資産を守るには、やはり土作りが基本です。

土作りは、良質な有機質の投入が欠かせません。

是非、みなさまにアグリ土づくりセンターの堆肥をご活用下さい。

そして、土作りを基本とした農業を実践して下さい。

「健全な土壌には健全な作物が育つ」

- JA直轄アグリ土づくりセンターは、管内の畜産農家の飼育糞を堆肥化し、農地に還元する資源循環型農業の推進を通じて、持続的な開発目標(SDGs)を支援してまいります。
- 地域ぐるみの「土づくり」を推進します。
- 腐熟度の高い良質な堆肥の安定供給に努めます。
- 土壌改良効果を発揮するため、利用者へ堆肥の長期連用を推進します。
- 良質な土づくり・作物生産のための肥料設計をしやすいよう、成分の安定化に努めます。
- 低コスト生産を支援するため、価格の低減につとめます。
- 高品質で高収量の農業生産、農業者の所得増大の糧となるような堆肥づくりを目指します。



利用者の声



米麦を栽培しています。
 水田に毎年2トン自分で散布
 しております。地力が向上し
 米麦とも毎年安定して収量
 を上げることができ地力の
 大切さを実感しています。

小竹町 木原 剛さん



キャベツ、トウモロコシを主に栽培し
 ている。堆肥を毎年10a当たり4トン
 投入し続けているため土壌の団粒化
 が進み、土に空気の間隙ができるこ
 とで、柔らかい土に、作物はしっかり
 根を張り、品質の良い野菜が採れる。

北九州市若松区 松浦 浩さん

●堆肥価格一覧表

基準日:令和3年11月1日

種類	区分	容量	価格(税込)	備考
水田用堆肥	直取り	1トン	3,500円	
		軽トラ	1,000円	
	配達のみ	2トン	8,000円	
	配達・散布	2トン	1ha以上 9,500円 3ha以上 9,000円	
園芸用堆肥	直取り	1.8㎡	5,000円	
	配達のみ	3.6㎡	12,000円	

●施肥基準量一覧表 (10aあたり)

品目	堆肥量
水稲	2トン
大麦・小麦	2トン
大豆	2トン
ブロッコリー	2トン
キャベツ	4トン
ぶどう	1トン

●堆肥分析検査データ

一般財団法人畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所

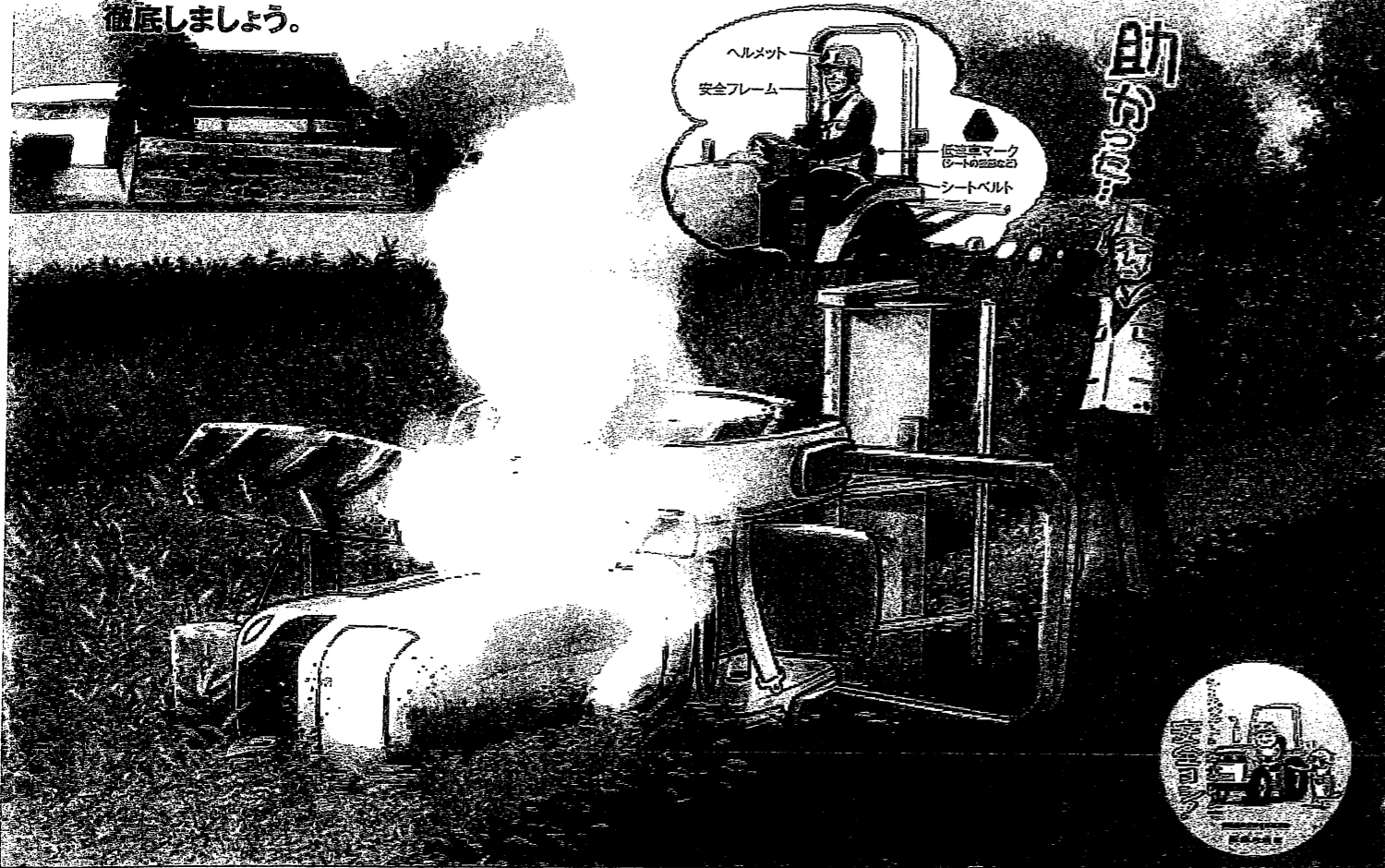
分析日:令和3年3月15日

分析項目	水分(%)	(aP)	EC(mS/cm)	窒素(N)	リン(P)	加里(K)	石灰(Ca)	苦土(Mg)	銅(Cu)	亜鉛(Zn)	マンガン(Mn)	硼(B)
現物当り	54.3%	7.8	3.8						19	63		
乾物当り				1.9	0.9	2.6	2.9	0.9			8,800	340

(5)農作業の安全確認と予防対策について

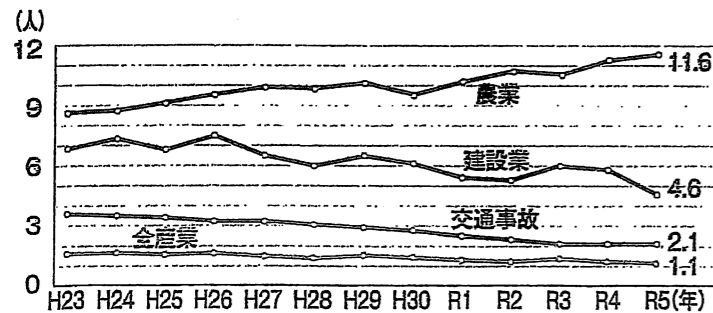
安全確認と予防対策で公道での農機による死亡事故を防ぎましょう!

安全フレーム、安全キャブ付きトラクターを使用し、低速車マークの設置、シートベルト・ヘルメット着用を徹底しましょう。



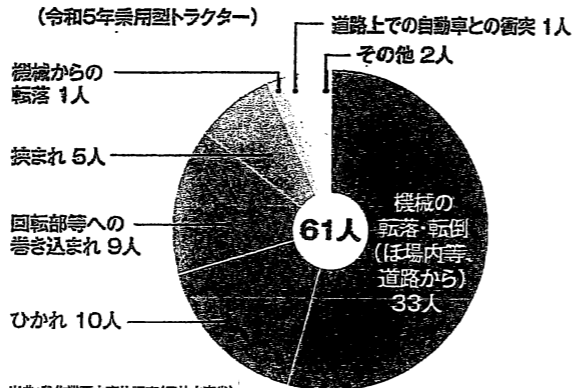
農林水産省の最新の調査データによると、236人(令和5年)の方々が農作業中の事故で亡くなっています。グラフからもわかるように、農作業中の死亡事故は一般交通事故の約5倍、建設業の約2.5倍にも及びます。農機事故を未然に防ぐために備えるべき機器(ランプ等)や操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。

■10万人あたり事故死亡者数の推移



出典:死亡者数 農作業死亡事故調査(農林水産省)、死亡災害報告(厚生労働省)
就業者 農林業センサス、農機備置動態調査(農林水産省)、労働力調査(総務省)
令和5年中の交通事故死者数について(警察庁)

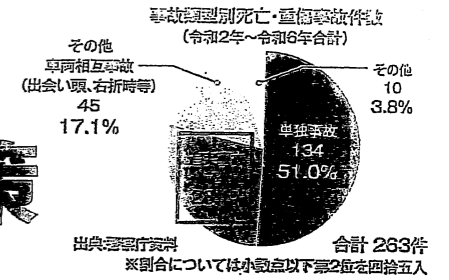
■原因別の農業機械作業に係る死亡者数



出典:農作業死亡事故調査(農林水産省)

詳しい要因、対策は裏面へ

公道での農機による交通事故の要因と対策



事故発生の要因

公道での農機の交通事故は大きく分けて単独事故と他の車両からの追突事故の2種類があります。

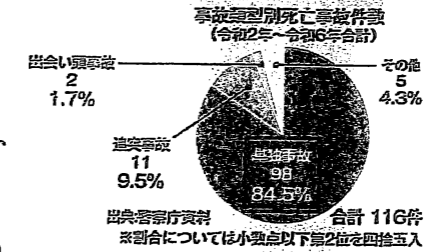
単独事故

1.用水路等への転落

運転操作ミスや道路環境が悪いことにより、田畑や用水路等へ転落。

2.傾斜地での横転等

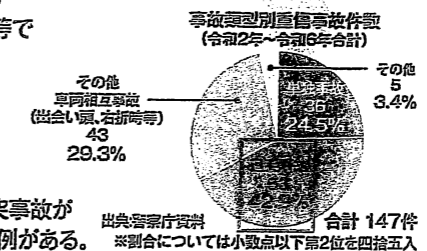
農機は通常の車に比べ重心位置が高いため傾斜地等でバランスを崩して横転。傾斜地等で自然に動き始めた農機にひかれる事故。



追突事故

夜間等における追突

夜間は後続車から農機が発見されにくく、追突事故が起る。昼間のトンネル内でも追突事故の事例がある。



事故防止の対策

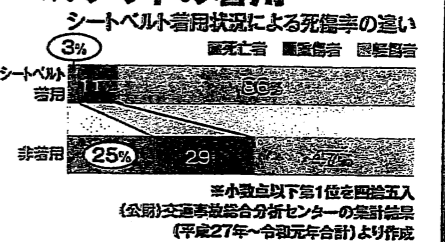
公道での農機による交通事故対策の対策と準備が重大な事故を防止します。

ポイント1 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

農機による死亡事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況等に応じた確実な運転を行いましょう。道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。農作業前後に道路上を走行する際は、ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

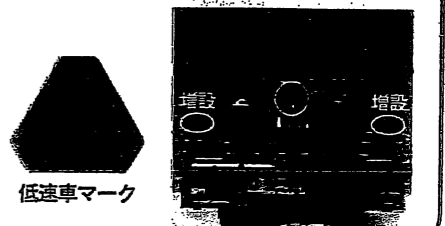
ポイント2 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用しましょう(安全フレームは倒さずに使いましょう)。農機による交通事故においても、シートベルト着用の有無により死傷状況が大きく異なります。トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。また、ヘルメットの着用にも努めましょう。※車種によっては取り付けられないものもあります。



ポイント3 ランプ類や低速車マーク等の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気づいてもらうことが大切です。「低速車マーク」や「反射板」を設置しましょう。また、作業機を付けて公道を走行するためには、基本的にランプ類の増設等が必要です。



(7) 日本農業新聞について

THE JAPANESE AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞 電子版

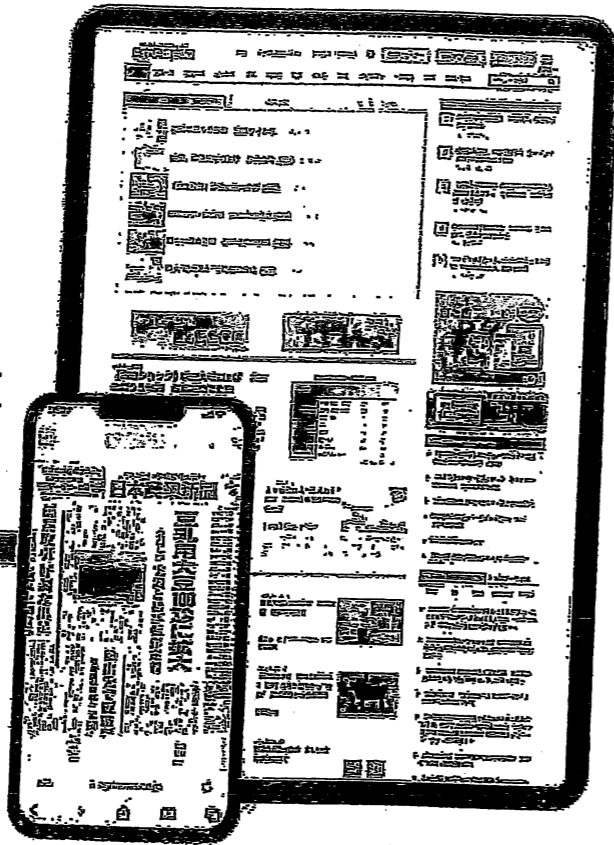
新聞よりお得!

月額料金 **2,403**円(税込)



電子版でできること

- いつでも、どこでも**
スマホやタブレットを使い、お好きな時間と場所で、情報収集ができます。
- 過去記事検索が30日分**
見逃した記事もさかのぼって読むことができます。検索で欲しい情報を効率的に集められます。
- クリップ機能で記事を保存**
気になる記事を最大200件まで保存できます。「まとめ読み」にも役立ちます。
- netアグリ市況がスマホでも見やすく**
青果（野菜・果実）、花、畜産などの全国主要市場での取引結果を即日公開します。



紙面ビューアの特長

- 読みやすさ、そのまま**
いつもの紙面と同じレイアウトです。
- 文字を大きく**
紙面を拡大・縮小すれば、お好みの大きさに文字サイズを調整できます。
- 紙面丸ごと印刷できる**
すべての面が印刷可能。大事な記事の保存やスクラップに役立ちます。

すべての地方版が紙面ビューアで読めます

新聞では1地域分しか読めない地方版。電子版なら全10地域の地方版が読み放題。全国の情報を網羅できます。



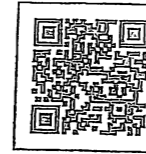
- 初回のみ、購読開始月は月末までの料金がかかります（無料期間中の解約はできません）。
- 電子版は個人向けサービスです。法人プランはございません。なお、法人代表者が個人でお申し込みいただくことは可能です。

電子版のお問い合わせやお申し込みは、お近くのJAまでご相談ください。

公式ウェブサイトからのお申し込み方法

Step 1

公式ウェブサイトへアクセスし、メールアドレスを登録



<https://www.agrnews.co.jp/page/subscribe2>

Step 2

届いたメールのURLをクリック

Step 3

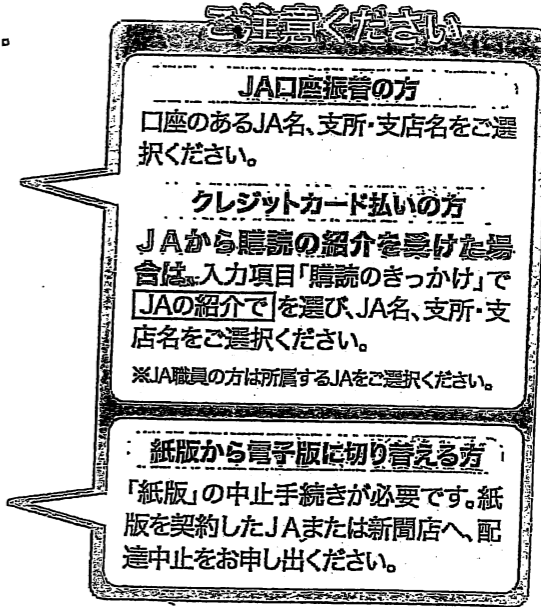
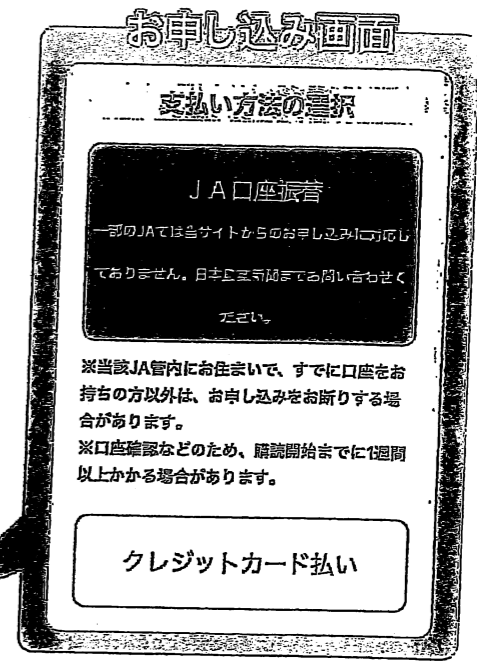
支払い方法の選択
(JA口座振替/クレジットカード払い)
※併読申し込みの詳細はウェブサイトでご確認ください。

Step 4

読者情報の入力
入力フォームにしたがって、お名前・住所等の情報を入力してください。

Finish!

お申し込み完了



便利!

ショートカットアイコンの作り方

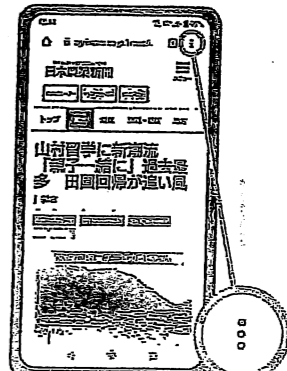
iPhone+Safari

Android+Google Chrome

スマホのホーム画面にアイコンを作れば、素早く電子版にアクセスできます。

- Step ① ブラウザーで「日本農業新聞公式ウェブサイト」を開き、メニューアイコンをタップ
- Step ② メニュー内の「ホーム画面に追加」をタップ
- Step ③ 「追加」をタップ

Finish! ホーム画面にアイコンが追加



Safariのメニューアイコン ※アイコンの作り方は、OSやブラウザの仕様によって変更になる可能性があります。 Google Chromeのメニューアイコン